

第 144 回 東南アジアの植民地化②

1 フィリピンの植民地化

- ・フィリピンは（ ）の植民地であり、カトリック化が進んだ。
→1834 年、ルソン島の（ ）を開港し、（ ）・サトウキビ・タバコのプランテーション経営が行われた。



私のこと覚えてますか？

- ・19 世紀後半、スペインの圧政に対し、（ ）がフィリピン同盟を結成して平和的に独立運動を行ったが処刑された。
- ・秘密結社カティプーナ党がスペインに対して武装蜂起し、フィリピン革命が始まった。
→1898 年、（ ）の結果、アメリカ領となった。
→（ ）は独立を目指して（ ）を発足させたが、アメリカは（ ）でフィリピン支配を確立した。



ホセ=リサル

フィリピン同盟を率いた独立運動の闘士で、フィリピンの国民的英雄。16ヶ国語以上を操る天才だった。日本にも滞在しており、日比谷公園に像が建てられている。



アメリカのマッキンリー大統領

アメリカの帝国主義時代のはじまりを告げる大統領。忘れた人は第133回のプリントを見よう。プエルトリコやハワイを獲得したのも彼の時代。



アギナルド

秘密結社カティプーナに加わり、スペインやアメリカに対する独立運動を展開した。フィリピン共和国は、都の場所からマロロス共和国とも呼ばれる。

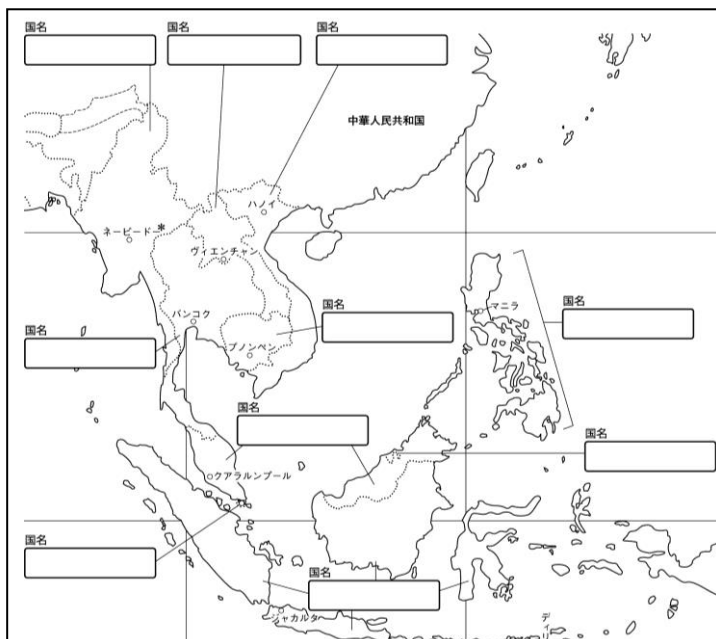
2 ビルマ（ミャンマー）、マレー半島の植民地化

- ・ビルマでは、南部のモン人の侵攻により（ ）が滅亡した。
→1752 年にコンバウン朝（アラウンパヤー朝）が成立し、モン人を撃退した。

<ビルマ（ミャンマー）>

☆（ ）（1752～1885 年）

- ・1767 年、タイのアユタヤ朝を滅ぼすなど、18 世紀に全盛期をむかえた。
→ビルマのアッサム侵略をきっかけに（ ）と 3 度のビルマ戦争を戦った。
→1886 年、敗れたビルマは（ ）に併合され、イギリス領となった。



<ビルマ（ミャンマー）の簡単な王朝交代表>

<マレー半島>

- ・イギリスは、マレー半島でも（ ）・（ ）・（ ）などの港町を支配し、（ ）を成立させていた。
→中国からの移民である（ ）を使用して（ ）鉱山を開発した。
→周辺地域も支配し、1895年に（ ）を成立させた。
- ・また1888年には、北ボルネオ（ボルネオ島の北部）もイギリス領とした。
- ・20世紀に入ると、インドからの移民である（ ）を使用した（ ）のプランテーション経営を行い、この地域は複合社会となって現在に至る。



東インド会社の社員であったラッフルズは、シンガポール島の重要性にいち早く気づき、1819年にイギリス領とした。探検も行っている。

ラッフルズ



ゴムのプランテーション

天然ゴムは、ゴムノキという木の樹液である。ブラジルが原産だが、マレー半島に持ち込まれた。



マレーシアの女性

現在マレーシアには、様々な人種の人々が住んでいるが、これはイギリスの政策が原因であった。ちなみに真ん中はマレー系の人だが、何教徒だろう？

3 タイの独立維持

- ・タイでは、1767年に（ ）がビルマのコンバウン朝に滅ぼされた。
→その後しばらく混乱したが、1782年に独立を回復した。

☆（ ）（1782～2023年現在）

都…（ ） ※現在も首都

◆ラーマ4世（モンクット王）（在位1851～1868年）

- ・西の（ ）、東の（ ）に挟まれるなかで、両勢力に対して均衡策をとることで独立を維持した。
- ・1855年、イギリスと不平等条約であるバウリング条約を結んだ。

◆（ ）（在位1868～1910年）

- ・ヨーロッパの知識が豊富であり、奴隷制度の廃止や学校教育の導入など、チャクリ改革と呼ばれる近代化政策を行い、独立を維持した。
- ・チャオプラヤ川下流のデルタ地帯では、輸出用の米の栽培が進んだ。



ラーマ4世(モンクット王)



映画『アンナと王様』

ラーマ4世役はチョウ=ユンファ、息子チュラロンコンの家庭教師アンナ役はジョディ=フォスター。ただし本場タイでは、上映禁止らしい。なぜだろうか？



ラーマ5世(チュラロンコン大王)

タイの国王の中では、現国王のラーマ9世(プミポン国王)と並んで、タイでは最も人気のある国王。命日の10月23日はタイの休日である。